

2022年度 市立函館高等学校 シラバス

| 教科 | 科目 | 単位数 | 年次・コース | 教科担任 | | | |
|---|-------------------|--|--|---|--|----------|-------|
| 公民 | 政治・経済 | 2 | 3年次 | 山崎祐介 | | | |
| 使用教科書 | 高校政治・経済 新訂版（実教出版） | | 使用副教材 | 政治・経済資料2022（とうほう） 高校政治・経済 新訂版 演習ノート | | | |
| 科目の目標 | | | | 道徳教育のねらい | | | |
| 広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。 | | | | 卒業後に実社会で生活していく上で必要な知識、教養を身につけさせ、政治面や経済面、あるいは国際関係などの面で人間としての在り方や生き方を考えていく。 | | | |
| 市函DP(本校で身に付けさせたい10の資質・能力) | | | | | | | |
| 学習活動内容 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| | | 主体的学習力 | 基礎力 | 思考・分析力 | 発信・表現力 | 自他認知・協働力 | 計画実行力 |
| 1 | 第1編 現代の政治 | ○ | ○ | ○ | | | |
| 2 | 1章 民主政治の基本原則 | ○ | ○ | ○ | | | |
| 3 | 2章 日本国憲法の基本的性格 | ○ | ○ | ○ | | | |
| 4 | 3章 日本の政治機構 | ○ | ○ | ○ | | | |
| 5 | 4章 現代日本の政治 | ○ | ○ | ○ | | | |
| 6 | 5章 現代の国際政治 | ○ | ○ | ○ | | | |
| 7 | 第2編 現代の経済 | ○ | ○ | ○ | | | |
| 8 | 1章 経済社会の変容 | ○ | ○ | ○ | | | |
| 9 | 2章 現代経済のしくみ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 10 | 3章 現代経済と福祉の向上 | ○ | ○ | ○ | | | |
| 11 | 4章 世界経済と日本 | ○ | ○ | ○ | | | |
| 12 | 第3編 現代社会の諸課題 | ○ | ○ | ○ | | | |
| 13 | グループワーク | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | |
| 14 | 課題提出 | ○ | ◎ | ○ | ○ | | ◎ |
| 15 | 考査 | ◎ | ◎ | ◎ | | | ◎ |
| 評価の観点 | | 関心・意欲・態度 | 思考・判断 | 技能・表現 | 知識・理解 | | |
| | | 現代の政治経済や国際関係についての関心を高め、それぞれの課題を意欲的に追求するとともに、客観的に考えようとする態度や姿勢が身についたか。 | 現代の政治経済や国際関係に関わる事象から課題を見だし、その課題の本質や望ましい解決のあり方などについて、広い視野に立って多角的かつ多面的に考察し、様々な立場を踏まえて公正に判断しているか。 | 現代の政治経済や国際関係に関わる諸資料を様々な手段を通して収集し、集めた情報を主体的に選択し、有用に活用できているか。 | 現代の政治経済や国際関係に関する基本的な事柄や理論などを理解し、その知識を身につけることができたか。 | | |
| 評価の方法 | | 小テストや課題、ノートや授業中の発表・発言、討議などに取り組む姿勢全般において、意欲的に取り組んだかを評価する。 | 授業中の発表・発言、討議などに取り組む姿勢、及び定期考査から、思考・判断した過程や結果を表現できるかどうかを評価する。 | 定期考査や小テスト、課題などにより、資料などを活用して情報を得て、まとめることができるかどうかを評価する。 | 定期考査や小テストなどにより、基本的な事柄を理解し、知識を身に付けているかどうかを評価する。 | | |

政治・経済 授業計画

| | | 授 業 計 画 | | | 実 施 状 況 | | |
|-----------|------------------|--|--|--|---------|--|--|
| 月 (時数) | 単元・考査等 (配当時数) | 学習のねらい | 学習内容 (配当時間) | | | | |
| 前 期 | 4月 | オリエンテーション 第1編 現代の政治 1章 民主政治の基本原則 5 2章 日本国憲法の基本的性格 5 | ・民主政治の成り立ちとしくみを理解する ・日本国憲法の成立、平和主義、基本的人権の保障の内容を学習し、今日における日本国憲法の意義を理解する。 | 1 政治と法 5 2 民主政治と人権保障の発展 3 国民主権と民主主義の発展 4 世界の政治体制 1 日本国憲法の成立 5 2 平和主義 3 基本的人権の保障 4 人権のひろがり 1 立法 2 行政 4 3 司法 4 地方自治 | | | |
| | 5月 | 3章 日本の政治機構 5 4章 現代日本の政治 前期中間考査(1) 2 | ・国会、内閣、裁判所、地方自治のしくみを学習し、民主主義がどのように実現されているのかを理解し、他の国と比べて今後の課題とは何かを考える。 ・戦後政治の流れを学習し、日本の政治が抱える問題点等について考える。主権者として望ましいあり方を学習する。 | 1 戦後政治の歩み 3 2 選挙制度と政党 1 3 政治参加と世論 | | | |
| | 6月 | 5章 現代の国際政治 6 | ・国際政治と国際法の意義、核軍縮や管理について学習し、国際政治と日本の関係について考える。 | 1 国際政治の特質と国際法 6 2 国際連合と国際協力 3 現代国際政治の動向 4 核兵器と軍縮 5 国際紛争と難民 6 国際政治と日本 | | | |
| | 7月 | 第3編 現代社会の諸課題 2 | ・教科書にある1～10の課題の中から複数を選択し、代表的な考えを比べた上で望ましい解決方法を考える。 | 現代課題の諸課題 2 | | | |
| | 8月 | 第2編 現代の経済 1章 経済社会の変容 3 前期期末考査(1) | | 1 経済活動の意義 2 経済社会の形成と変容 3 1 | | | |
| | 9月 | 2章 現代経済のしくみ 12 | ・経済活動の意義について理解し、現代の経済のあり方を理解すると同時に現代経済についての知識を身につける。 | 3 グローバル化と現代資本主義経済 4 1 市場機構 8 2 現代の企業 3 国民所得と経済成長 4 金融のしくみ 5 財政のしくみ | | | |
| | 10月 | 9 後期中間考査(1) | ・経済主体の役割などの学習を通して経済活動がどのように調整されているのかを考える。 | 1 戦後復興と経済成長 9 2 経済の停滞と再生 3 日本の中小企業と農業 4 国民の暮らし 1 5 環境保全と公害防止 6 労使関係と労働条件の改善 | | | |
| | 11月 | 3章 現代経済と福祉の向上 4章 世界経済と日本 8 | ・国民の生活や社会保障問題の役割などについて学習し、様々な課題に対してどのように取り組むべきかを考える。 | 1 商品・資本の流れと国際収支 8 2 国際経済体制の変化 3 金融のグローバル化と世界金融危機 4 地域経済統合と新興国の台頭 5 経済協力と人間開発の課題 | | | |
| | 12月 | 1月 | ・世界経済について理解し、日本との関わりについて考える。 | | | | |
| 後 期 | | | | | | | |